

## 賛成討論

議案第84号「倉吉市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例の廃止について」賛成の立場で討論させていただきます。

「多くの子ども達、保護者の願いを叶えてください。お願いします。署名者の声です。もう一度、校名選定のチャンスをください。お願いします。」悲痛とも感じる声が耳に残っています。そして、私たち議員一人一人の名前を呼び上げ、語りかけられた姿。昨日意見陳述されたお二人です。さらには、議員の質疑に対し、時には言葉を選びながら、時には毅然とした態度で受け答えされたお二人に感銘を覚えました。

お二人をはじめ、倉吉市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例を廃止する倉吉市条例改廃請求者署名簿は4815名の方が、適正に署名されたことを昨日の質疑で確認しました。しかも、子ども達や保護者に影響が少ないようにと1週間署名期間を短縮され、実際には6000人を超える方が署名をされています。重い重い市民の声です。

校名の選定・決定過程について、それぞれの立場で考え方も異なる面があります。一昨日、校名問題で私の家に訪ねてこられた方がありました。住民直接請求の会には入っていないが、今回のことはおかしい、校名の議決のあり方、私的諮問機関のことなどお話しされました。私は、「同感できる部分は沢山あります。このことは議会で取り上げている議員もありますが、解決できるのは司法機関だと思います。今は、もう一度この問題を差し戻して、統合準備委員会で協議していただき、出来れば全員一致でもって決定してもらうことが大切です。そのために、市長も苦渋の決断ながらということ今回議案を出されています。」とお話しさせていただきました。

昨日の質疑の中でも、仮に校名選定を差し戻したとしても、来年の4月開校は出来るという確認は取れています。確かに日程的にタイトなこと、統合準備委員会のことが心配だという意見もあります。しかし、私は、子ども達のために大人がこの問題にしっかりと向き合い、前を向いて進めば乗り越えられると信じています。

このままでスタートを切ると、将来にわたって禍根を残すこととなります。教育委員会に一任するのも良いでしょうが、出来れば統合準備委員会を信頼し、もう一度成徳小学校・灘手小学校統合準備委員会のオープンな中で校名を決定していただくのが筋だと考えます。現状では成徳小学校と灘手小学校の統合なので、至誠、打吹に限らず全てフラットにして学校名を決めていただければと願うところです。

当然、そのためには、教育委員会のこれまで以上の誠実な対応、サポートが求められます。きちんとした形で、教育委員会、学校教育審議会を経過して議会に提案していただければ、私たち議会は喜んで議決に望みます。

以上、議案第84号に賛成の立場での討論とさせていただきます。